

事業計画書

—令和3年度—

公益財団法人 京都 SKY センター
(明るい長寿社会づくり推進機構)

令和3年度事業計画

1 基本方針

京都 SKY センターが設立 30 周年を迎えた昨年は、新型コロナウイルス感染症という未曾有の事態により、私たちの暮らしや社会経済活動が一変した年となり、シニア大学やふれあいフェスティバルなど従来からのセンターの活動も大きな制約を受けたが、同時にこれまで進めてきた様々な事業について見つめ直すとともに、コロナ禍を踏まえた新しい事業スタイルの試行にも取り組む貴重な機会となった。

こうしたことの上に立って、令和3年度は、コロナ禍で希薄になった地域や社会とのつながりや人々との絆を取り戻すことをめざし、引き続き、①府域全域での事業展開、②地域社会の課題解決への貢献、③多世代交流の促進の3つの視点を重視して施策を推進するとともに、令和2年度に行った新しい事業スタイルの試行結果も踏まえた事業の改革・改善を積極的に進めていく。

なお、人生 100 年時代を迎える中で、平成 24 年度の公益財団法人移行後それまでに以上積極予算を編成し事業展開を行なって来たが、他方でこの度のコロナ禍の影響もあり個人会員の減少と大幅な財政赤字が続いているため、持続可能な財政運営に向けて事業構造の変革並びにコスト削減の取組を強化する。

2 事業計画

(1) 情報発信・啓発関連事業

①「全国健康福祉祭（ねんりんピック）参加者派遣事業」

コロナ禍により1年延期され、令和3年10月30日（土）～11月2日（火）に岐阜県で開催される「第33回全国健康福祉祭ぎふ大会」に参加者を派遣し、健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図る。

併せて、参加者の経験を地域でのふれ合いと活力ある長寿社会づくりに活かすため、地域活動への積極的な参画を促す。

②「SKYふれあいフェスティバル2021 開催事業」

高齢者等が日頃の活動の成果を発表し、さらなる活動へのインセンティブとするとともに、多様な世代が人生 100 年時代を体感し、ともに考える機会を提供する。

具体的には、高齢者の関心の高い健康チェック、リハビリ等のコーナー、高校生や

子どもたちとふれ合う多世代交流コーナー、舞台発表や暮らしの情報コーナーなど多彩なコーナーを設け、誰もが楽しめるフェスティバルとなるよう企画運営する。

なお、依然としてコロナ禍での開催となることも懸念されるため、出来るだけ密を避ける観点から開催規模・期間の縮小と作品展の分離開催を実施する。

イ「SKY ふれあいフェスティバル 2021（京都パルスプラザ）」

- ・開催日（予定） 令和3年9月18日（土）
- ・開催場所（予定） 京都府総合見本市会館（京都パルスプラザ）

ロ「SKY ふれあい作品展 2021（みやこめっせ京都）」

- ・開催日（予定） 令和3年12月4日（土）・5日（日）
- ・開催場所（予定） みやこめっせ京都

おって、コロナ禍の状況によっては、令和2年度と同様に実開催を見送り動画等によるバーチャルフェスティバルへの変更についても機動的に対応する。

③「情報誌 SKY 発行事業」

高齢者の健康づくり、生きがいづくり、仲間づくり、さらには地域活動への参画のきっかけづくりに資するとともに、健やか、快適、豊かなシニアライフに役立つ京都府等の行政情報等も満載した情報誌を発行する。

- ・発行時期 隔月（奇数月）発行
- ・発行部数 5,100部
- ・配布先 会員、公的機関、提携施設等

（2）健康づくり・生きがいづくり・地域貢献関連事業

①「京都 SKY シニア大学開催事業」

高齢者の生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりに資するとともに、地域社会の活性化を促す人材の養成と社会参加意識の醸成を図るため、シニア大学を開講する。

令和3年度は、開講期間を5月から翌年3月までの年度内完結型に変更するとともに、「生涯現役社会推進事業」で取り組むスキルアップセミナーとも連動して社会貢献人材養成コースの更なる拡充を図る。平成30年度から進めている地域キャンパスについては、北部キャンパスとして福知山・舞鶴の2会場で開催するのに加え、令和2年度に試行したリモート配信の成果を活かし府域の複数個所でリモート講義を実施する。

- ・開講期間 1年間（5～3月）
- ・講座数 1コース年間約30回

・募集定員 540名(全8コース※)

※「歴彩・京都学」「体験・地域活動」「知力・情報社会」「健康・スポーツ」
「京都見聞」「ガイドが魅せる京都」「人生100年・探究心」
「北部キャンパス」

なお、コロナ禍の状況によっては、開催内容について弾力的に変更を行う。

②「人生100年シニアパワー結集事業」

イ「生涯現役社会推進事業」

地域のSKY生きがづくり推進員、老人クラブ、NPO等と連携しながら、高齢者が地域の担い手として活躍できるようにスキルアップ研修等を行うとともに、地域活動等とのマッチングを行い、高齢者の活躍を支援する。

具体的には、介護、障害者支援、車いすメンテナンス、農園芸など介護・福祉ボランティア関係のスキルを身に着けるためのセミナー等を開催するほか、料理、パソコンお絵描き、紙芝居など子育て支援に参画する高齢者の育成も図り、さらに受講者の組織化も行いながらボランティア活動等に勤しむ高齢者の活動をコーディネートする。子育て支援については、令和3年度から新たに子ども食堂関係のシニアボランティア育成・斡旋に取り組むなどこれまで以上に当該分野の活動を強化する。

また、令和2年度に30周年記念事業として初めて開催した高齢者の社会参加を促す「SKY活動見本市」を継続開催する。

ロ「SKY地域活力創生事業」

人口減少・少子高齢化の進行により地域社会の過疎化・活力低下が喫緊の課題となっており、こうした課題解決の一助とするため、府内各地の生きがづくり推進員をはじめ、市町村、老人クラブ、各種団体等の協力を得ながら賑わい創出など地域活力の創生につながる多様なイベント・事業を推進する。

具体的には、生きがづくり推進員が主体的に企画・運営する事業や、おこしやす京都100巡りウォーク事業等を実施する。

ハ「多世代交流促進事業」

主として高校生との交流を通じて高齢者の健康づくり・生きがづくりを促進するとともに、高等学校においては、改訂高等学校学習指導要領に盛り込まれた、新しい時代に求められる資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の具体化に資する。

具体的には、生徒、地域の高齢者、介護予防サポーター、NPO関係者等が参画し、健康体操や脳トレ等の介護予防を行う「ねんりんサロン」を府立清明高校、府

立峰山高校に加えて、新たに連携協定を締結した府立大江高校で実施するとともに、府立京都すばる高校、府立大江高校と連携して多世代交流バス研修を行うほか、SKY ふれあいフェスティバルにおける高校生横丁の運営等を行う。

さらに府立京都すばる高校と新たに連携協定を締結し、認知症予防のための脳トレ問題集第2集を作成する。

二「SKY 学活セミナー開催事業」

これまで以上に京都市以外の地域での開催に注力するため、令和2年度に北部地域に設置した SKY 地域駐在員を南部地域にも設置し、引き続き地域貢献活動に繋がるセミナー（学びを活かす：学活セミナー）を重視という点にもポイントをおいて事業を実施する。

具体的には、シニアライフの充実に寄与する健康・暮らし・IT関連のセミナー、傾聴・手話・子育て・介護など社会貢献活動に繋がるセミナー等を積極的に開催するが、特に高齢者からの希望の多いスマホ活用講座の開催に注力する。

ホ「サラリーマン・シニア社会活動支援事業」

シニア世代を対象に「健康・生きがい・仲間づくり」の場を提供するため、サラリーマンOB・OGの方々等で構成するイベント企画運営委員会を設置し、高齢者の視点に立った多彩なイベントを企画・実施する。

具体的には、ウォーキング、歴史散策、社会見学などシニア世代に関心の高いイベントを実施し、引きこもり防止と社会参加の促進を図る。

(3) 相談・情報提供関連事業

①「高齢者総合相談事業」

高齢者やその家族等が抱える生活全般にわたる悩み事等の相談に対し、相談者の思いに寄り添って懇切・丁寧に対応する。生活・福祉等に関する一般相談に加え、法律（財産管理等）に関する専門相談にも対応する。

②「高齢者生活・福祉関連情報提供事業」

老人福祉施設等に関する情報提供、エンディングノートの販売・啓発、救急医療情報キットの提供、介護関連ビデオ/DVDの貸出し等を実施する。

(4) 会員関連事業

①「SKY サークル活動支援事業」

SKY センターの会員で結成されている文化系・スポーツ系のサークル・同好会活動に対し、ハード・ソフト両面から支援するとともに、サークル代表者でつくるサークルネットを通じて行われるサークル間の交流・連携を促し、高齢者の健康づくり、生きがいづくり、仲間づくり活動を活発化する。

②「SKY センター法人会員相互交流等事業」

SKY センターの事業活動に賛同し、支援・協力をいただいている法人会員に感謝の意を伝えるとともに、会員同士の相互交流の機会を提供するため、法人会員の集いを開催する。